

敬老関連事業に関するアンケート集計結果

—アンケートについて—

市では毎年、各自治会が実施される敬老事業に対して補助金を交付していますが、昨年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止に配慮され、会食や余興等を伴う従来型の敬老会が実施できず、自粛されたりお祝い品の配布等に転換されたところが数多くありました。

本市では、高齢化の進展により、高齢者数がさらに増大する見込みであり、特に団塊の世代（S22～S24 生）の全ての方が75歳以上になる2025年（令和7年）には、総人口の約4人に1人が75歳以上となり、敬老事業の補助基準とする対象者数も同様に増大するものと推計しています。

今後、新型コロナウイルスとの共存社会、新しい生活様式の実践を進める必要があることや、高齢化がさらに進展することから、自治会が実施される敬老事業の実態や今後の意向等を把握するためにアンケート調査を実施いたしました。

—調査対象—

令和2年度の自治会長（ただし、敬老事業を自治会単位ではなく、連合区単位で実施されている場合は連合区長、自治会以外の集落単位等でされている場合は集落の代表の方）284名

—調査方法—

調査票による本人記入方式（郵送配布・郵送回収による郵送調査方法）

—アンケートの実施期間—

令和3年3月2日～令和3年3月29日まで

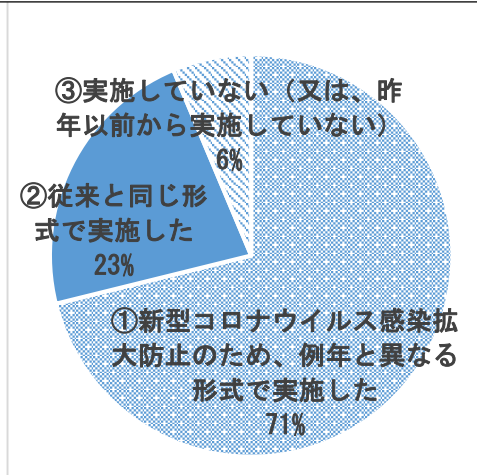
—回答者数—

253名の方に回答いただきました。（回収率89%）
ご協力ありがとうございました。

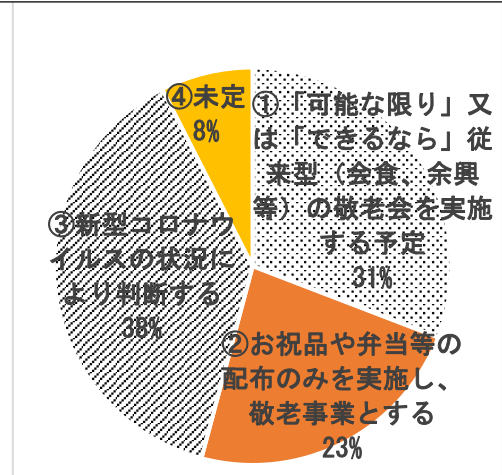
1 自治会で実施する敬老事業の内容について

前年度との比較では、71%の自治会がコロナ禍により例年と異なる形式で実施したと回答されました。令和2年度に敬老事業補助金を申請された266自治会のうち、263自治会が記念品の配布のみ実施されています。令和元年度は266自治会中75自治会(28%)にとどまっていたことからコロナ禍の影響が見られます。令和3年度も約7割の自治会が、コロナウイルスの状況を考慮しつつ、従来型の敬老会の実施を検討されています。

昨年度の敬老事業の実施形式について



来年度以降の敬老事業の実施形式について



2 令和2年度中(R2.4.1~R3.3.31)に実施の敬老事業について

2-1、2-2 住民基本台帳の閲覧について

住民基本台帳を閲覧したと回答のあった自治会は52%ですが、「来年度閲覧の必要性なし」と回答した自治会は23%であり、自由記述意見に「閲覧しようと思ったが手続きが煩雑なため断念した」等のご意見があり、閲覧を希望したが断念した自治会もあったと考えられます。

住民基本台帳の閲覧については、従来より自治会役員の負担が大きいとのご意見を頂いていましたが、住民基本台帳法の規定により、名簿や台帳の写しの提供は行えません。

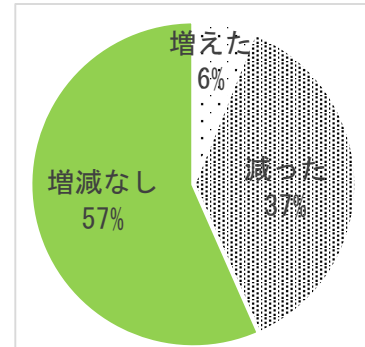
閲覧者は80%が自治会長であり、その他には副自治会長や公民館主事も閲覧されています。

2-3、2-4 対象年齢について

市の補助基準の適正年齢、自治会の対象年齢ともに75歳以上という回答が約8割でした。70歳から徐々に上げている途中という自治会もありました。

2-5 令和2年度の敬老事業の実施に関わった自治会役員について

実際に敬老事業を担当される役員の人数は自治会の規模により異なり、記念品の配布のみを実施した自治会が大半となった令和2年度についても、対応人数に増減はあまりみられませんでした。実務担当者は自治会長・副自治会長・会計の3役、公民館長・公民館主事の順に多く回答がありました。



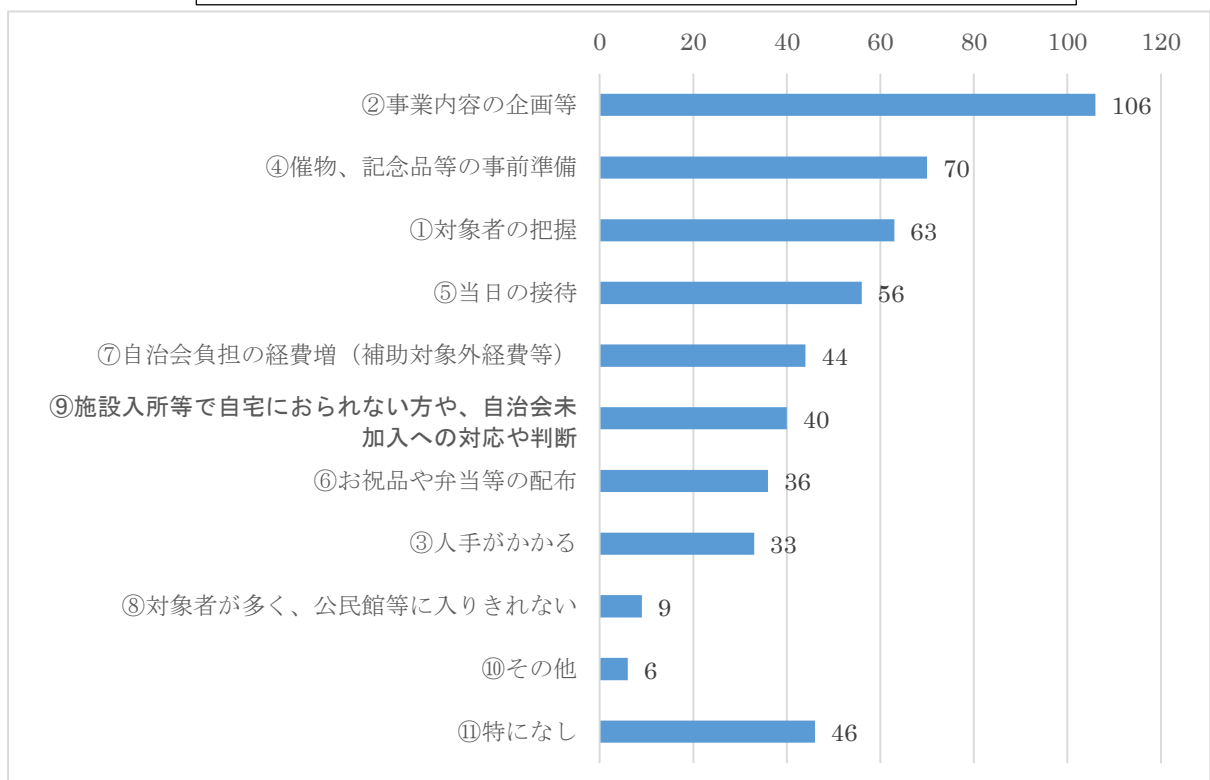
2-7 敬老事業について、自治会への負担感や、課題・問題について

敬老事業の課題として最も多く挙げられたのは事業内容の企画で、回答のあった253名中106名と半数近くの回答がありました。敬老会の余興の企画、配布する記念品の内容、また新しい生活様式での開催をどのようにするか等悩まれている様子うかがわれます。次いで多く挙げられたのは催物等の事前準備、当日の接待といった従来型の飲食を伴う敬老会開催に伴うものと、対象者の把握や施設入所等で不在の方や自治会未加入者への対応といった、敬老事業の形式に関わらないものでした。

問題点として、高齢化が進み小規模の自治会を中心に事業の継続自体が困難であるという意見や、公民館でイベントを実施する際の自宅～公民館の送迎や、高齢のため会に参加できない方が増加しているといった意見もありました。

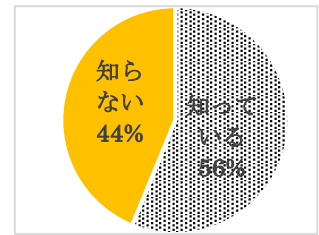
また、自治会の恒例行事として定着しており負担感は無いという意見や、対象者に喜んでいただけることから、負担はありつつも継続していきたいという意見もありました。

敬老事業の実施について自治会の負担や課題・問題となる項目は

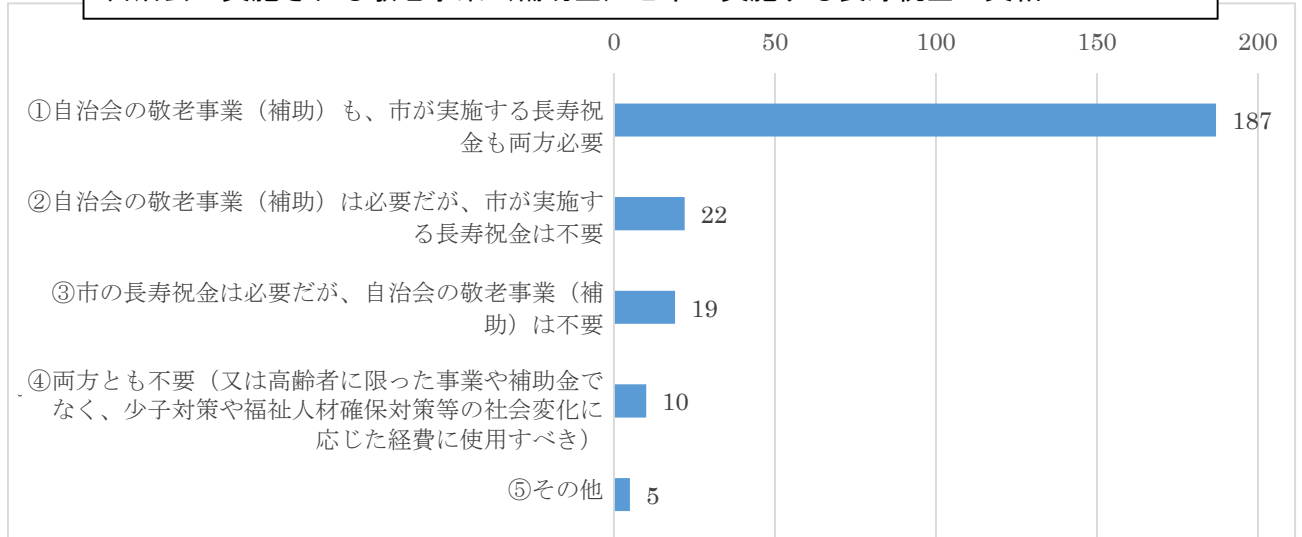


3 長寿祝金の支給（市の事業）について

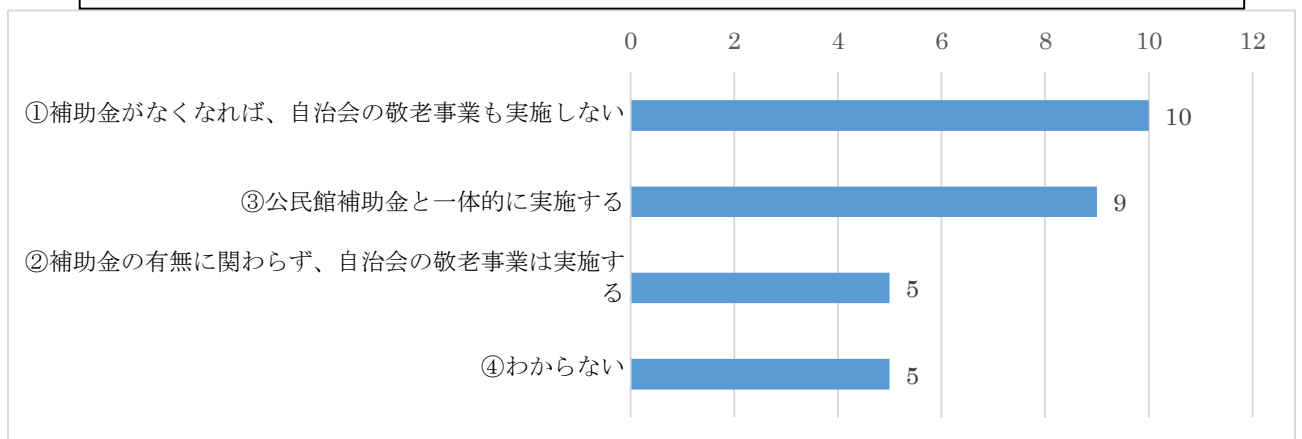
長寿祝金支給事業について「知っている」と回答した方は半数程度の56%でした。自治会の敬老事業も、市が実施する長寿祝金も両方必要という意見が76.9%と大半でした。



自治会で実施される敬老事業（補助金）と市が実施する長寿祝金の支給について



仮に敬老事業補助金が廃止された場合、自治会が実施される敬老事業はどうするか



4 敬老関連事業に関するご意見等

たくさんのご意見を頂きました。大きく分けると、①現状維持 ②変更は必要だが続けていきたい ③高齢化により見直しが必要 ④行事内容について ⑤対象者リストについてのご意見いただきました。

①と②については、敬老事業は自治会にとっても大切な事業であり、高齢者の方にも喜んでいただけるので続けていきたいといったものが大半でした。

③について、高齢化が進み、自治会の大半以上が敬老会対象者となると事業の実施が困難になるといった意見がありました。②と③について、自治会の他の行事（お花見など）に合わせて敬老会を開催する、高齢者対象だけでなく子供も含めた幅広い年齢層での交流

会を実施するといった、従来の敬老会とは異なる形での開催をされている自治会もあります。

④については、敬老事業を続けたいと考えておられる自治会で、余興などの企画立案、記念品の選定、新しい生活様式でどのように実施するか等の悩みが寄せられました。事例をホームページに掲載する等して欲しいとの意見もあり、今後丹波市ホームページで可能な限りご紹介できればと思います。

⑤については従来よりご意見を頂いていますが、氏名・年齢等を行政で把握しているのだから自治会へ知らせてほしいというご要望が多いのですが、住民基本台帳法の規定もあり、一律に名簿の提供を行うことはできません。

5 まとめ

多くの自治会で、事務手続きや事業の企画等に負担を感じる部分はあるものの、対象者に喜ばれる敬老事業を実施したいと考えておられました。

しかし、問題点として、今後、高齢化が進むにつれてお祝いされる側の高齢者がお祝いする側よりも人数が増えることや、対象者の確認のための住民基本台帳の閲覧が自治会の負担となっていることが挙げられます。

補助基準を行政区内の75歳以上高齢者としていることが住民基本台帳の閲覧等の事務手間を増大させていると考えられることから、補助基準の見直しを検討する必要があると考えています。

また、事業の企画等に負担を感じていることから、事業の実施事例のホームページ上での公開等行っていきたいと考えます。

単純集計

1 貴自治会の敬老事業の内容についてお伺いします。

1-1 今年度実施した敬老事業について、昨年度までと比較してあてはまる番号に一つ○をつけて下さい。

①新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年と異なる形式で実施した	180
②従来と同じ形式で実施した	57
③実施していない（又は、昨年以前から実施していない）	16
合計	253

1-2 来年度以降の敬老事業について、どのような形式で実施される予定ですか。あてはまる番号に一つ○をつけて下さい。

①「可能な限り」又は「できるなら」従来型（会食、余興等）の敬老会を実施する予定	78
②お祝品や弁当等の配布のみを実施し、敬老事業とする	59
③新型コロナウイルスの状況により判断する	97
④未定	19
合計	253

2 令和2年度中（R2.4.1～R3.3.31）に貴自治会が実施された敬老事業についてお伺いします。

2-1 令和2年度の敬老事業の実施前に、住民基本台帳の閲覧をされましたか。また、どなたが閲覧されましたか。あてはまる番号に一つ○をつけて下さい。

①閲覧した	130
②閲覧していない	121

閲覧者（複数回答可）

自治会長	107
副自治会長	14
その他	13
合計	134

その他内訳（複数回答可）

公民館主事	4
会計	2
公民館長、公民館副主事、自治会役員、福祉係、敬老事業担当者、幹事、総務、民生委員	各1

2-2 来年度以降、住民基本台帳の閲覧は必要とお考えですか。あてはまる番号に一つ○をつけて下さい。（※設問2-1で「閲覧していない」場合もご回答ください）

①閲覧は必ずする予定である	113
②閲覧する必要はない	58
③わからない又は、決めていない	66
④その他	13
合計	250

自由記載

回答番号	記載内容
①	自治会員の中には丹波市に住所の無い人もおられ、人数を正確に知るため
	役員改選で新役員が新しい方向を探る可能性あり
	「自治会未加入者の把握、老人ホーム入所者が移籍されているかどうか」等役員として正確な情報が得られるので
②	住民台帳を自治会で完備し、二役が手元管理している
	自治会長が敬老事業の為にそこまでするのはいかかかと思う。本人に生年月日を聞くようにしている。
	自治会入会時に生年月日と電話番号記入 該当の方が解るので良いと思いますが手続きが負担です。事前に予約・閲覧は平日の決まった時間個人情報・役所の決まりとはいえ会社勤めの人にとって休みを取る必要があります。役員の人へそれだけの時間をかけてもらう必要があるのか疑問に感じています。
③	自治会長がお願いに行っても手続きが複雑なことを言われたのでやめました
	行政が人数なりを連絡してほしい
④	閲覧は必要ないが、補助対象者の名簿を市から提供いただきたい
	閲覧せずに写しが欲しい
	見るのに手間がかかり人に聞いてリストを作っている。個人情報保護の為かまともなリストもなく引き継ぎもない。災害用にも詳しいリストを作りたいが出来ずに放置したままである。
	補助対象になった人を確認するため必要
	自治会長で管理している世帯名簿を基に対応するが必要が生じれば閲覧する。
	新しく 75 歳になられる方が分かればそれで良い
	人数が変わった場合あるいは自治会名簿と一致しない場合必要である
	毎年ではないが数年に 1 度は確認すべき
	自治会長しか閲覧できないということだったが、副自治会長でも可能なら助かる。
	役員交代になるので次期役員が決定されます。
	役員交代につきわからない
基本的に自治会内の老人会にまかせています	
敬老事業は実施していない	

2-3 貴自治会の敬老事業の対象年齢は何歳以上とされていますか。(.....歳以上)

60 歳以上	2
65 歳以上	2
70 歳以上	43
72 歳以上	6
73 歳以上	3
75 歳以上	185

2-4 敬老事業補助金の対象年齢は何歳以上が適当と思われますか。あてはまる番号に一つ○をつけて下さい。

① 70 歳以上 ② 75 歳以上 ③ 80 歳以上④ その他 (.....歳以上)

70 歳以上	21
75 歳以上	174
77 歳以上	1
80 歳以上	11
その他	2

その他内訳

徐々に年齢を上げるべき	1
判らない	1

2-5 令和2年度の敬老事業の実施に関わられた自治会役員等の人数は何人でしたか。
また、その人数は昨年より変更がありましたか。

役員の数	自治会数
0人	3
1人	27
2人	37
3人	33
4人	8
5人	13
6人	12
7人	13
8人	12
9人	8
10人	5
11人	4
12人	6
13人	4
14人	3
15人	5
16人	2
17人	3
18人	3
20人以上	11

増えた	13
減った	79
増減なし	120

2-6 敬老事業を実際に中心となって担当されたのは、どなたでしたか。あてはまる番号に○をつけて下さい。(複数回答可)

①自治会長	170
②副自治会長	76
③会計	67
④公民館長	27
⑤公民館主事	33
⑥老人クラブ、婦人会等	15
⑦その他	41

その他内訳

組長、隣保長	12
社会福祉委員等	7
敬老事業担当	6
自治会役員	4
当番組	3
公民館役員	3
女性会、農会長等、体育委員、民生委員・協力委員	各2
総務、土木部長、ブロック長	各1

2-7 敬老事業の実施について、自治会に過度の負担感がある、または課題・問題と考えられる項目について、あてはまる番号に○をつけて下さい。また、その理由をお教えてください。(複数回答可)

①対象者の把握	63
②事業内容の企画等	106
③人手がかかる	33
④催物、記念品等の事前準備	70
⑤当日の接待	56
⑥お祝品や弁当等の配布	36
⑦自治会負担の経費増(補助対象外経費等)	44
⑧対象者が多く、公民館等に入りきれない	9

⑨施設入所等で自宅におられない方や、自治会未加入への対応や判断	40
⑩その他	6
⑪特になし	46

理由：

①	自治会内の自治会員以外も敬老事業の人数になっていて人数の把握に戸惑う。
	敬老事業対象者氏名を知らせてほしい（住民基本台帳を閲覧しなくても）
	同じ年に生まれた人も誕生日で対象者が変わる（閲覧が必要）
	昨年の閲覧時はプライバシーの問題なのか決まりなのかわかりませんが1人1人書き写してくれと言われました。ちょっとコピーをしてもらえたらと思いました
	住民基本台帳の閲覧手続きに制約が多すぎるし時間もかかる
	対象者の把握について、事務手続き等手間が掛かる
	対象者を調べるのに閲覧では時間がかかる。2-2で答えたように写しを提供して欲しい。閲覧し記入するのと写しを交付するのに個人情報に関しては同じである。回答が欲しい。
	対象年齢者の把握（モレがあると問題）。
	把握しているつもりだったがあとから私も75歳になったと言われて追加した
	閲覧対象者と当自治会の対象者の差異があり把握が大変です。
	①と⑨については各組長に依頼して確認や住民基本台帳を参考にしているがそれでも対象者数が多く病院や施設に入っている方もおられ把握がしきれない部分があり大変である。
	個人情報の関係で把握できない場合もある。
	市の方で対象者を把握して自治会の方へ渡してほしい。施設・入院先等なかなか把握できない。ましてひとり宅なら連絡が出来ない時がある基準等（年齢）あいまいな点があるから。
	全世帯の人員・人数を自治会として把握し切れているとは言えないので
	年齢の確認や対象年齢の若い方の参加が少ない。
	信用できる住民のリストが無く毎年困る。誕生日も年齢もはっきりした資料が無い。災害用のリスト作成も元になるリストが無く進められず自治会で使用できる資料があれば使用したい。また日曜日にその対応をしてくれないので困る。
75歳以上の地区内該当者に対して記念品（現在は商品券）を配布する事業としており、対象者の把握、各個人への配布以外さほどの負担はない。過去には公民館にてイベントを行うこともあったと聞くが、その場合は負担感があったと思われる。また、不参加の方への配慮方法が難しいと思われる。	
②	余興などの企画作りに苦勞する。
	企画等に負担
	イベントをどうするか企画が大変。
	②④企画、特に余興がマンネリ化しないようにするのが大変である。
	参加者（特に男性）が年々減少傾向にあり企画等工夫が必要であるが、マンネリ化しているため。
	企画が毎年同じ様なものになり招待しても参加者が少なく役員の手間の方が多いうように思われる。
	毎年、自治会の生きがいセンターで行っているが、対象者の参加意欲が高く、期待されている面もあり、企画立案等の検討が難しくなっている。尚、所用時間は3時間強。
	事前の計画等の準備、欠席者への対応が大変
	余興等でどの様なことを計画すれば多くの方に出席してもらい喜んでいただけるのか人によって思いが違うので難しい面がある。又自治会負担の経費も考えなければならない。
	皆が楽しめる催し物を考えることが難しい
	催し物の企画等（毎年同じ様な事）何か変化する事等良きアドバイスがほしい！！
	敬老事業対象者の好みがわからない。催し物を行うのが苦手。
	会食・余興の年は企画（余興の予約、子供会の手紙や出し物）が大変である。
補助が増えれば余興（レクリエーション）の謝礼がもっと多く出せるため、講師等を社協の名簿以外の人（所）に依頼することができる	

	<p>企画立案と実施面に負担感があり、事業内容がマンネリ化してきている。輪番制の当番組で実施している為、企画・実施の参加人数に差が生じ、戸数の少ない組にとっては負担が少し大きいのが今のところ過度ではない。戸数の多い組の場合は、当番組用の経費がやや多くなってしまふ為、来季より自治会予算を調整する必要が出てきた。</p>
②	<p>毎年参加される方はほぼ同じメンバーで、出来るだけ同じ催し物をしないように準備したいが企画案が少ない。他、事前準備も役員をしてもらっている人もそれぞれ会社に勤められているため、日曜日が中心となり、家のことより優先されている。</p> <p>何パターンか余興のプランを市のほうで企画して頂いて自治会から申し込みできる方法があれば嬉しい。個人で依頼するには限界があるし費用も高くなる。手配するにしても難しい局面がある。</p> <p>毎年の会食、余興の実施は補助対象外経費の増や企画準備に負担があるため隔年実施とし、その他の年は商品券の贈呈にとどめている。</p> <p>②～⑥は2年毎に役員・組長もかわる又公民館長・主事の負担が大きく課題も多くある</p>
	<p>接待に人手がかかる。</p> <p>手伝う人も高齢者の為手伝い人が確保できない</p>
③	<p>本年度をもって女性団体の解散が決定し、計画や接待の少人数化が進む為、来年度よりさらに負担が増加する見込み。女性団体は高齢化と新加入者が少ない為、解散する。</p> <p>限られた役員会で企画し準備するには限られた人に負担がかかってしまう。</p> <p>敬老者からの要望が多すぎる。出来る事、出来ない事の判断ができていない。スタッフの人数には限度がある。催事中に楽しくなければ退席される。やりたくない。</p> <p>軒数の割に高齢者が多い。よって運営が難しい。世帯数に対し高齢者が増え運営が難しくなっていく。</p> <p>公民館に来られる対象者が少なく配布する人数が多いので事業の見直しが必要だと思う。</p> <p>食品(弁当)などの衛生管理</p>
④	<p>商品券の準備に車でショッピングセンターまで行く必要がある</p> <p>毎年、「やすら樹」で催し物(手品)をし、その後飲食をしていた。今年はコロナでできなかったものの、準備、当日の段取りがなかなか大変である。</p>
⑤	<p>今の時代は接待(特に食事)を女性に依頼することが難しい。※高齢者は接待は女性の役割と考える傾向が強い(女性の役割と決めつけるのは問題である)⑨一人暮らしの人が施設入所の場合、品物(特に菓子類)を届けるのが困難である。</p> <p>自治会の慣習で、敬老会のお世話は自治会三役とその奥様にお世話になっております。三役の奥様方に過度の負担感があり、慣習の見直し検討が必要と思っています。</p> <p>補助対象外経費を抑えるため手伝い人弁当などは自己負担でお願いしている。</p>
⑥	<p>[1人暮らしの場合] 記念品をわざわざ(遠隔地)施設まで届けなければならないし、受領印やサインを頂くのに時間がかかる</p> <p>手作りの和菓子やくりごはん等準備し配布喜んでいただいたが素人が調理するのでコロナ禍ではよくないと思って今年度は中止した</p>
⑦	<p>一人に5,000円以上の経費</p> <p>費用負担が多い為経費がかかる。</p> <p>自治会は緊縮財政であり敬老事業の経費負担が多いため、その負担感は少なくしてほしい。補助金を増やしてほしい。</p> <p>小さい集落において、経費が増えることは一つの問題点である。</p> <p>自治会負担の経費増と接待</p> <p>コロナ感染下ではない場合、敬老事業に老人の方は楽しみにされており事業を企画して参加頂いているので継続して進める予定です。補助対象外経費についても一考願いたい。</p> <p>一時とはいえ立替えなければならない(小さな集落なのでまだしもだが大きい集落では一時とはいえ負担である)</p> <p>事業該当者の増加、高齢化に伴い体調不良の方もあり催物の実施が困難な状況下で数年前より記念品の贈呈のみ実施している。また併せて喜寿の祝品も配布しているので正確な対象者の把握が困難になりつつある。記念品も毎年同じものの配布は避けたいが選択が難しい。今後該当者の増加は明らかであり経費の負担は確実に増加する。</p>

⑧	会場が手狭になっているのも懸案事項。
	対象者が100名を超える。参加者は毎年60～70名程度だが公民館が密になる
⑨	自治会未加入の方への対策
	⑨高齢の方がお子さんの家におられたり施設に入所されている家庭もいるので別に連絡をとらなければならない
	⑨今まで自治会費等を長く払ってこられた方が施設入所された場合配布をどうするか。親戚を探したり施設をまわったりしているが限界がある
	②自宅におられない方が少数ですけどおられて商品券の配布に少し困ったと配布者の組長が言ってました。
	①⑨アパートや高齢者住宅などもあり自治会未加入者もあり住民基本台帳には名前記載があるが自治会名簿にはない方の判断や扱いが難しい。
	自宅に在宅かどうかの判断がつかない方もおられます。何度も訪問し、止め時が難しい状況です。敬老は素敵な事ですが一時のお祝いではなく日々のサポートに経費をかける方が本当に該当者にとっては良いのではと思います。
	自宅外で生活されている方（自治会員一人暮らしの方の対処方法に悩む
⑩ コ ロ ナ 禍	新しい生活様式の実践を進める必要があるため
	コロナ禍が終焉するとは思えないため、公民館に多数の方の入場して貰っての開催に不安を感じる。ソーシャルディスタンスを確保するのが難しい。
	新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言の発令等、完全終息がいつになるか非常に不安を感じております。特に敬老事業となると今以上に気を気張らなくてはならず、通常の敬老事業が出来ません。自治会を引っ張ってこられた老人に心よりお礼をと思っておりますが、名案がありません。何かあれば教えていただきたい。
	コロナ禍の中今後の事業の在り方を見直す予定です。
	新型コロナウイルスの収束が見通せない中での開催
⑩ 高 齢 化	高齢者が増加している
	当自治会は超高齢化のため公民館への参集も困難であり敬老事業等の継続も困難状態である。
	今後、70歳以上75歳未満の人数が増してくる。 経費節減もあり弁当等を自治会内の団体をお願いしているがその団体様も人数、高齢化となり実施しにくい状況になりつつある。楽しみにされている敬老会なのでできるだけ美味しい弁当等を食べてもらいたいと思っているが…
⑩ 送 迎	自分で公民館に来ることが出来ない方の送迎の安全確保
	当自治会は限界集落で、高齢者も多く、身体的不自由老人も多い。従来、公民館にてイベントを実施（昨年はコロナによりちたん券配布のみ）していたが、公民館に足を運ぶことが困難な人も多いので世話役や経費負担が多くなることが予想される。
⑩ そ の 他	仕事をもっている役員の負担感
	自治会の担当役員は、会社勤め人の場合何かと大変です。
	自治会役員の中で多くの方が仕事を兼ねているので、時間（日）がかかって苦労している。
	全てにおいて手間が掛かり、役員の負担が多い。
	11区の自治会長様と連合区自治会の執行部4名の計15名で敬老事業の実施をしています。上記複数に〇をつけていますとおり、皆様の負担がけっこうあり、いくらかでも市にて面倒をみてもらえる項目があれば助かります。敬老事業以外でも、多くの事業を抱えており、自治会長のなり手の少ない中、すこしでも軽減してあげればと思いました。よろしく願いいたします。
	現状ですが、市からの補助金があるので開催しているのが正直なところです。この制度がなくなれば敬老事業を中止することも考えています。
	敬老関連事業への参加者が特定化するのでその呼びかけの方法等苦心する
対象者の意識の問題。自治会や行政にやってもらって当たり前という考え方や意識が強い。あれこれと注文が多い・飲酒に対する要望が強い・送迎に対する要望も多い（飲酒関連）・希望を満たすには予算が足りない・終わりが見えない。	
事業に関して回答の通り負担感はあるが、特別な事情の無い限り事業継続したい。高齢世帯も増えている現状ですが、自治会とのつながりを大切にしたい。	

	できる事を考えあまり負担にならないよう、例年は感謝祭ということでその中で敬老事業も含めて行っている。対象者の方には少々もの足りなさを感じておられるかもしれないが、心をこめて取り組んでいるつもりである。
	特に負担と感ずることはない
	事業に負担感を持ったら何も出来ない。
	老人クラブが中心となって実施されるため大きな負担はない。
	負担感はない。楽しみにしておられるので今後とも続けたい。
	年に一度の敬老会、皆当たり前のようにやっている（会長、余興）
	従来から実施している事業であり、自治会の定例行事として定着している。よって、従事する役員も当然の任務と受け止めており、取り立てて負担感はない。
	少人数だから
	商品券を配る程度にしたので過度の負担感はない
⑪	お祝い品（商品券）は、自宅訪問で様子伺いをして配布しているため過度の負担感はない。
	市からの敬老事業補助金はたいへんありがたい。
	本自治会は毎年6月に敬老事業を実施しているが会食して余興のある年と祝品配布の年を隔年で行っている。令和3年度は会食・余興の年であるが新型コロナウイルス感染拡大防止のため弁当とアルバム（役員作成）を配布する予定であり昨年よりアルバム作りの準備にかかっている。
	敬老事業は今まで地域を守り私たちが育てて頂いた先輩方へのお礼で実施する事業です。そもそもこのアンケートは何を意図してされていますか？もしも行政や自治組織に負担感が多いという結果を導くためならそれはとんでもない間違いです。当自治会は対象者の名簿づくりから会の運営まで全て自ら実施していますが、過去に一度も負担と思ったことはありません。「帰ってこいよ」と言われる市長はこのアンケートを許可（決裁）されたのですか？老人を敬うことの出来ない自治体は必ず衰退します。それは未来の老人は現在の私達だからです。

3 長寿祝金の支給（市の事業）についてお伺いします。

3-1 市では敬老関連事業として長寿祝金の支給を行っています。ご存知ですか？

知っている	136
知らない	106
合計	242

長寿祝金の支給

対象年齢	支給額
最高齢	50,000 円
100 歳	30,000 円
88 歳	10,000 円

※対象年齢到達の翌月に
たんば共通商品券を支給

3-2 自治会で実施される敬老事業（補助金）と、市が実施する長寿祝金の支給についてお考えを伺います。あてはまる番号に一つ○をつけて下さい。

①自治会の敬老事業（補助）も、市が実施する長寿祝金も両方必要	187
②自治会の敬老事業（補助）は必要だが、市が実施する長寿祝金は不要	22
③市の長寿祝金は必要だが、自治会の敬老事業（補助）は不要	19
④両方とも不要（又は高齢者に限った事業や補助金でなく、少子化対策や福祉人材確保対策等の社会変化に応じた経費に使用すべき）	10
⑤その他	5

上記で③を選択された場合、仮に敬老事業補助金が廃止された場合、自治会が実施される敬老事業はどのようにされますか。あてはまる番号に一つ○をつけてください。

① 補助金がなくなれば、自治会の敬老事業も実施しない	10
② 補助金の有無に関わらず、自治会の敬老事業は実施する	5
③ 公民館活動事業補助金と一体的に実施する	9
④ わからない	5
合計	29

⑤その他

3-2①②③以外の問いかけを考えてほしい
敬老人口の増加で役員も敬老会で祝ってもらう人になっている
自治会の敬老事業（補助）は必要。祝金は自治会が答える問題ではない。
自治会の敬老事業（補助金）は必要であるが市が実施する長寿祝金について自治会として、又は代表として要不要を回答すべき事項ではないと考える（市民個人々の意見を問うべき）
祝賀会等に出席されていない高齢者の方もおられるので記念品や弁当を配布するために補助金はあるがありがたい。余興等に費用がかかるので補助金を増してもらえばありがたい。長寿祝金は90歳代では少額でも毎年あれば嬉しい
長寿祝金の支給は自治会長経由で公の前でお祝いする様にする。
税込との関係で福祉全般に使うべき
長生きして良かったと思える社会になれば、少子化対策にも力を入れて子育てしやすい社会になれば良いその為に使えるように。
長寿祝金について知らないので答えられない。
わからない。当事者やまわりの関係する方の意見を重視します。

4 敬老関連事業に関するご意見等がございましたら、ご記入ください。

現状維持	いきいきサロン事業は参加希望者に対して行っており、必ずしも積極的に参加される方ばかりとは限りません。補完する形で一定の条件に相当する方に自身で負担を感じることなく恩恵を受けられる事業と位置付けています。市の本来のねらいと異なるかもしれませんが。
	敬老会は高齢者の年1回の集いの場となっており継続が必要と思われ、費用面での市の敬老事業（補助）は必要と思う。
	敬老の意味を素直に理解しできることを心をこめて実施していきたいものです。
	現行で十分お年寄り喜んでおられる。OKです。
	敬老対象者が増加しているので今まで通り補助金があると例年通りの敬老事業を実施することが出来ます。
	高齢者の独り暮らしが増えています。引きこもりを無くし横の繋がりが必要です。
	自治会で実施する敬老会を楽しみにしておられる方々もおられる限り続けていく方向であるが、参加者がかたよっている事も課題である。お世話する方の負担も大きく、対象者の方々への公平感も大事であるとする。次期役員・担当者で検討していただきながら進めている。
	高齢者に対して敬意を払うことは当然のことで少子化対象とは切り離して考えるべきではないかと思えます。事務的な手続きの簡素化をお願いします。
	個別のサイン・印でなく自治会長の押印でOKになったので良かったです。継続していただきたい。
	若年層が子育てしやすい環境や、企業誘致、誘致するための投資をすべきであると思えます。しかし敬老事業を打切る意味ではなく継承者がなくなることを危惧しております。商品券のバラマキはやめて欲しい。
楽しみにしておられる方もいて、負担も敬老精神ととらえて継続するのが良いと考える。私見であるが3-2の④は誘導尋問ではないか？	
自治会役員の弁当等の費用を補助してほしい。	

現状維持	補助金がある以上実施する予定
	長寿祝金は公平にするためにも今年度のように1人ひとりに手渡しで祝金(商品券)等を渡すのが最もいい形と考えます。 令和2年度は、75歳以上の高齢者に自治会より全員居記念品を手渡しした。全員の方がたいへん喜んでおられました。令和3年度も同様にすれば全員に公平にわたり不公平感が無くすっきりとした形でよかったと思います。ぜひ、令和3年度も同様にしていただければ自治会としてやりやすいです。尚、当自治会は老人クラブがありこの事業等にも極力協力をしていただきました。現在老人クラブに加入の人が減少し維持がだんだん難しくなっていると聞いております(男7女4計11名)
	自治会事業に支援・協力されてきた高齢者を敬老し祝意を伝えることは重要である。かつ、コミュニティが希薄になりつつある集落において様々な行事を通じて集会の場を設けることは重要である。
	少子化対策は国を挙げて大変多くの税金を投入されているが敬老関係は手薄のように感じられる。丹波市では、敬老事業また福祉に力を入れていただき、近隣市町との違いをアピール。来年度は各自治会に敬老関連事業費五拾萬円
	当自治会では子供が少なく高齢者の独り暮らしが多く人口が減るばかりです。やはり食事をして雑談するのが一番の楽しみなのでそういう機会を多く作るのがいいと思う。当自治会も市の協力を得てその方向に行きたいと思います。
	近い将来限界集落になる可能性は目に見えている。せめて高齢者の集まりは止めず残していきたい。
	年長者から学ぶことは多方面にわたり数多くあります。敬老の精神は地域の意識の高まり自治会の活動の活性化に必要なものです。
	令和2年度敬老会は新型コロナの関係で縮小で実施したが、年間1回の敬老事業であり楽しみにされている方が大半である。今後も自治会としてのお世話は大変であるが継続実施を考えている。
	当自治会では子供が少なく高齢者の独り暮らしが多く人口が減るばかりです。やはり食事をして雑談するのが一番の楽しみなのでそういう機会を多く作るのがいいと思う。当自治会も市の協力を得てその方向に行きたいと思います。
	高齢化の進行に伴って経費増が考えられるが、長年地域社会に貢献されてきた方々に対する敬老の費用であり、止むを得ない。特に、一人暮らしの高齢者の孤立や孤独が社会問題化している状況下で、敬老事業はそれに対する対策の側面も有している。継続すべき。
	敬老事業補助金に自治会担当に係る経緯を補助対象に、ただし自治会担当者全員でなく上限5人と制限があってよい全員を対象としなくて良い。
	高齢者が年々増えている中、事業は大切であると思います。自治会の負担も増えますが、そんな中、市からの補助金はとてもありがたいです。
高齢者はこれまで自治会を支え築いてこられた方であり、我々の先輩である。従って年に1度は敬老事業を実施して敬意を表すことが大切である。今後とも引き続き補助金を出していただくようお願いいたします。	
変更しつつ継続	バス代等の経費にも別途補助金があれば事業計画もいろいろ考えられるところもある。(送迎用車代として)
	自治会員と敬老会員の親睦食事会を毎年公民館で4月頃に行っております。楽しみな年間行事になります。
	例年、公民館での敬老会を実施していたが、参加者は対象者の3分の1程度だった。本年度は見守り活動も兼ねて弁当・記念品を民生委員・協力委員と共に配布した。対象者全員に面談アンケートもでき、生活状況を把握できてよかった。 従来は老人クラブ主体で会食や余興がされていたが、令和2年度より自治会が毎年している花見会とコラボして敬老会を実施することにした。ただしコロナで花見が中止となり敬老会ができなくなり2,000円/人の商品券の配布のみとなった。(本来は500円/人の無料食事券を配布し花見会で飲食してもらいそして2,000円/人の商品券配布予定でした)敬老事業のみでなく無理なく自治会事業に合わせて出来る方法をいろいろ検討しています。

変更しつ つ継続	<p>昨年はコロナ禍の影響でいきいきサロンや敬老会があまり実施できなかった。そういったときにどのように高齢者をサポートできるのかが難しい。特に独居送人に対するケアを考えていく必要がある。</p>
	<p>令和4年度から1歳ずつあげていき、10年後には75歳以上を対象とする予定。元気に過ごされている方は集まって飲食する機会がほしい。市で何かされるとき、地区毎に送迎する体制があれば多数集まることのできるのではないか。</p>
	<p>今年はコロナの関係で弁当と商品券に変更し（従来は会食）皆さんに大変喜んでいただいた。例年敬老会を実施していても出席率は6~7割程度で出席したくない人も相当数いる。例年は欠席者には弁当（まんじゅう付）を配っているが今年度は会食中止し弁当の他に商品券を付けて配ったので大変豪華な内容となり毎年欠席している人には特に喜ばれた。反面一杯飲みたい人には物足りなかったかも知れない。</p>
	<p>1. 補助金と自治会敬老事業との関連性を注視してください。（1）補助金が無くなれば自治会敬老事業の実施は財源の捻出が厳しい自治会が多いのではないかと思われる（2）補助金については役員お弁当と飲食（アルコール）は対象外ではあるが対象者（敬老会）の顔合わせを踏まえた親睦の観点からアルコールを対象（金額を限定して）に含めてはと思う。（3）本補助金の検討を計るなら公民館活動補助金も踏まえた検討を願いたい（自治会文化祭事業に充当する自治会も）</p> <p>2. 自治会敬老事業を開催した問題点</p> <p>(1) 満75歳以上一人当たり2000円について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・催物・記念品を考慮すると2000円以内に収めるのが難しい（特に催物として財源の観点より費用の掛からない警察・消防署の講演が多くなる。他の催物を考えると自治会の持出が多い） ・役員のお弁当について（支給対象外）通常、自治会4役が世話をするので認めていただきたい。 <p>(2) 規模の小さい自治会については商品券の配布が手間もかからないのでその方法をとっている</p> <p>(3) 補助金申請の仕方の簡略化の検討</p> <p>(4) 商品券の配布方法に統一するのであれば、補助金支給ではなく該当自治会より対象の人数報告をさせ、商品券の配布のみを自治会に依頼する方法。 住民基本台帳よりリストは市役所より自治会へ配布対象者を自治会でチェック)</p> <p>3. 自治会の財政上の問題点の把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回のアンケート調査は大変素晴らしい事です。 ・市役所全般に言えることは自治会が抱えている問題点を十分に把握できているかどうかです。少子高齢化の問題は市役所も検討しているが地元自治会も同様に悩みがあります。 ・地元からの意見集約の努力を賜りたい。丹波市は自治会の問題点がわかっているか疑問に思います。
	<p>今年から高齢者の方、村の子供たち、村の婦人の方等々幅広い年代でグランドゴルフ（毎日曜日AM9:00~）と市のグランドゴルフのスティック・ボール・旗等々を借りてやっています。高齢の方も子供達とふれあい喜んでいる。他の村でも同様にしたら良いと感じました。</p>
	<p>小さな自治会で敬老事業対象者もわずかな人数である。独自での事業はできていないのが実情（予算的にも厳しい）3-2での①は必要と考えます。よろしく願います。</p>
	<p>市の財政を考えれば（市の議員数、給与等）敬老に対する考え方が変わると思いませんか。</p>
	<p>実施年齢の変更（自治会の基準年齢変更が必要かも 75歳以上にするとか）対象年齢を上げる必要があるのでは？</p>
高 齢 化 へ の 懸 念	<p>自治会の年齢が上がっている為、後10年後には人口の半数近くが敬老人口になる</p> <p>高齢化で人数が増し、反面役員ら世話役の人数も確保できなくなる将来です。いづれ内容は改善しないとたない感じです。</p>

高齢化への懸念	当自治会では令和元年までは敬老会加入年齢を満70歳以上としていたが、依頼内容にも記載しているように、団塊世代の夫婦が多いこともあり、一気に人数が増えるので、1年毎に加入年齢を上げて、5年後の令和7年に加入年齢を満75歳とすることを提案したが、敬老会がよく理解をし、納得してくれて令和2年から満75歳以上となった。しかし5年後にはこのまま続ければ現在の12人から18人になる。世帯数22戸の小部落にはキツイものがある。
	敬老事業は今後高齢者が増えるので自治会独自での予算では行えなくなることが予想される。ある意味福祉にはもっと充実させてほしい。子どものことも含めて考えて、住みよい住民にやさしい丹波市になってほしい。
	高齢者が一堂に介して懇親を深める機会があることは、いきがいくりの点で有意義であり、「顔が見える関係」を構築することは、特に災害時の避難行動救助活動に有効です。しかしながら、超高齢社会に入った今日、自治会役員も高齢化が進み、従来どおりの敬老事業を継続することは難しくなってくると思います。定年延長もあり、参加者が少ないことを考えると廃止も検討する時期だと考えます。
	接待する方も高齢になり企画運営がなかなかです。
	一部わがままな敬老者に苦慮している。できれば補助金の対象をギフト券のみにして欲しい。配布して終わりにしたい。
	敬老会は自治会として大変手間が掛るので敬老会員が相互で行うのが良い。
	敬老事業に関わらず市の財政状況を見ながら出来る範囲で行うようにしていく必要がある。補助金や交付金は今後十分検討はしていく必要がある。
	毎年行っているため続けられているが、費用を考えた場合見直しも必要だと考える。お年寄りを大切にすることは大事である。
	丹波市が実施する施策において段階的に事業転換をするべきではないか。社会構造が大きく変化しているので、福祉行政のあり方を再構築を市として考えるべきではないか。財政破綻を招いては（今後超高齢化のため）将来の市民に負担増となる。
	今後高齢化が進み福祉関係への負担が増す中、二重の敬老事業の支出と思われる。十分に検討をお願いします。
	今後人員増が予想されるために改革が必要。補助金を減らす。
	高齢者のみの世帯が増加しているので自治会の在り方や存続にも危機感をもっている。
	高齢化への進展 高齢者数の増大 総人口の4人に1人が75歳と自治会にとっても大変な時期が来ます。会員数が減り高齢化が進むと自治会の運営等にも影響大となり役員選出にも大変です。
	非常に難題ですが、これからの丹波市は若者の都会への流出と高齢化の進展により高齢少子化社会に確実になる。活気ある丹波市である為にはストップ少子化対策と共に元気に健やかに高齢者が暮らせる丹波市を創造していかなければならない。このため困難な解決し難い課題ですが高齢者にも少子化にもいづれにも対応できる方策を見つけなければならない。
住民が高齢化している中で役員も高齢になり自治会の人数も減っているため、自治会の役を重複兼務するようになってきているので市が中心となりまとめてできるように考えてもらいたい。	
対象者リスト	行政側が人数、氏名を把握しているのだから知らせてほしい。
	毎年対象者のリストを送ってほしい
	住民基本台帳の閲覧を簡素化してもらいたい
	当自治会は10戸と敬老事業対象者が把握しやすいが、戸数の多い自治会のために対象者名簿のような物を簡単に利用できれば良いと思います。
	年齢確認のための住民基本台帳閲覧が面倒。個人情報のある件もあるが考えていただきたい。
	敬老事業の対象者の把握をするのに住民基本台帳の閲覧以外の方法を考えてほしい。とても手間のかかる作業（ex. 事前申し込みやデータの手書きでの書き写

対象者リスト	<p>し)で驚きました。</p> <p>このアンケートの目的がわからない。「敬老事業の実態や今後の意向等を把握」とありますが、把握して丹波市としては次にどうしたいのかという目的を明確に示していただきたい。依頼文書には目的が書かれていません。ぜひ、お知らせください。</p> <p>又このアンケート調査の結果はどのようにいつ公表されるかもお知らせください。よろしくお願いします。</p>
行事内容	<p>敬老事業の実施例等を丹波市のホームページにアップして欲しい。</p> <p>他の活動同様に、「敬老会」事業について行政から多くの事例紹介や研修の場があればと思う。</p> <p>企画立案の参考となる情報を提供してほしい</p> <p>コロナ禍で他の自治体ではどのような敬老事業が行われているか調査して、当市に何ができるかを知らせてほしい。</p> <p>当事業については、自治会にとりましても重要課題となっています。100歳体操等諸効果は認識できます。多くの高齢者が参加できる企画等、役員にて計画しておりますが、他地区での取り組み等、情報提供していただければ参考になります。</p> <p>余興事業者（個人ボランティア含む）の最新情報の提供を受けたい。子供会ともタッグを組んで幼老共に楽しみたいがアドバイスや事例があれば伝授願いたい。</p> <p>高齢者が多くなる地域ではありますが車がなくて出かけられない人が多いので、全ての人が楽しめる企画があれば良い。時代劇やナツメロを楽しみたいので出張、映画（DVD）鑑賞できる機会があれば嬉しい。</p> <p>対象年齢を上げてもいいので市でプロの落語会か演芸を2年か3年に1回してほしい。</p>
長寿祝金	<p>100歳、88歳は市から個人に直送ですか？何年度からされているのか？</p> <p>市の負担になるが、77歳（5,000円）の祝金を出してほしい（元気なうちに使用できる祝金として）</p> <p>長寿祝金の対象年齢や支給額の充実を検討された方が良いと思います。</p> <p>長寿祝金 喜寿（77歳）を増やす</p>
少子高齢化	<p>・敬老関連福祉関連の予算を少子化対策に少し予算を増額しては・自治会内で空き家が増加している事反面他地域で新築が増えている事・住民の意識が使い捨てる時代に傾いている</p> <p>今の若い人たちがもっと年配の方を支えるのには今の若い人たちを応援できる社会にしてから出来るだけ若い力を活用していける場をもうけてほしい。年配の方も働ける場が必要と思う（65歳以上、生きている限り働ける社会がほしい（個人的に））</p> <p>高齢者には他に大変経費がかかっている。バランスから考えてもっと少子化対策の方へ経費を使うべきではないか。</p>
老人クラブ	<p>老人会が解散する中、とりまとめをする人がいなくなり（老人会役員）意見が聞きにくい</p> <p>老人クラブでの地区老を脱退する自治会が多くなり、各自治会内の老人クラブの事業計画、運営が困難な状況がある。</p>
その他	<p>コロナ対策で予算圧迫の時、敬老事業について廃止も含めて検討されることに意義はありません。これを機に思い切った方向転換も必要ではないでしょうか。</p> <p>75歳以上の人でも社会に貢献する事業を有償で提案してください。少しのお金でも老人の足しになります。年金では生活が成り立っていないので。</p> <p>個人的にはこの事業は不要だと考えている。人はすべて敬うべきで特にお年寄りだからと言って別扱いは不要。しかしながら楽しみに待っておられる人たちの思うと誠に複雑である。</p> <p>市共通商品券を利用し戸別訪問等により配布しているが商品券を購入するのに立替で領収書を貼付して申請し後日支給されるまでの約1か月係が負担しなければならない。小さな自治会のため自治会会計に依頼できない（係の立替が大変）</p>

その他	<p>コロナ禍により R3 年度の敬老会の関係は、多人数を集めた従来のやり方は出来るのか?とても悩ましいです。</p>
	<p>この事業は以前は小学校の体育館において市の主催で開催されていた。なぜ、自治会主催に変更になったのか。老人福祉行政として市が行えばよいと思う。また、現状のままでやるのならば、補助金額をあげる必要がある。自治会の負担が多いため。</p>
	<p>当自治会の運用上の問題でもあるが、役員のみが負担を強いられ、一般住民は全く参加せず無関心である。</p>
	<p>②（敬老事業補助金は必要だが長寿祝金は不要）の方向に進めたいアンケートと思うので 2025 年からの補助について市の考えをはっきりなぜ知らせないのか。市の財政はわからないが、多少のカットは問題ないと思う。</p>
	<p>④のこういう質問は一体回答をどこへ誘導しようとしているのか、意図がみえみえで情けなく残念である。余りに軽率なアンケートは民意を反映するどころか、逆に姿勢の反発をまねく可能性があることを十分に考えてされるようお願いします。担当者には一度多可郡野間谷村にある門脇政夫さんの碑文を読み勉強して欲しいです。</p>
	<p>何故 3-2 のようなアンケート項目が設定されるのか!?!その真意を知りたい！高齢者に対する「敬愛の念」が薄れつつある今日、それを助長するようにはあってはならない！！（私だけの思いかも知れぬが…）もっと市をあげて力を入れて教育する必要あり！と思うが…</p>
	<p>自治振興会も同様の敬老事業を開催しており、自治会長等はその準備や接待に出役している。地元←→地域←→市の役割を明確にし、重複事業を整理していくことが大切と考えます。一方、社協は高齢者支援事業を地元で行うよう働きかけてくるし、地元役員は大変です。</p>
	<p>例年は自治会長及び副自治会長が高齢者を接待し食事会及びおみやげを贈呈するのですが私的な意見ながら年間一番気が重い行事でした。</p>
	<p>戸数が 3 戸でありうち 1 名がされる側であるため（出来ない状況に）但し各事業においては各自頑張っている。</p>
	<p>当自治会は新年度から実施する予定無し。</p>